

GRAFIK Eye® パワーインターフェース

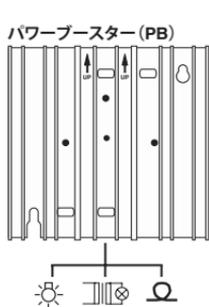
パワーブースター (PB)

電子トランスインターフェース (ELVI)

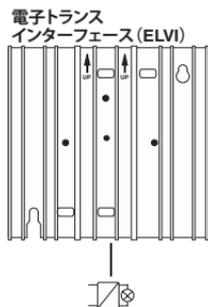
ルートロン蛍光灯インターフェース (FPB1V)

位相制御蛍光灯インターフェース (PBSH)

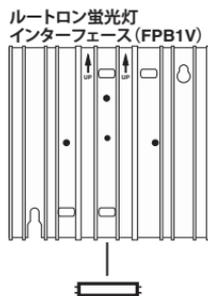
取扱説明書をお読みください。



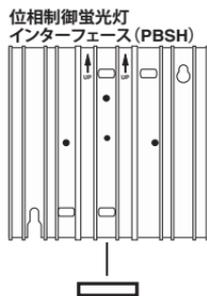
白熱灯
電磁トランス付ローボルト球
ネオン / 冷陰極管



電子トランス付ローボルト球



ルートロン Hi-lume®
蛍光灯調光安定器



位相制御調光
蛍光灯器具

このたびは、ルートロン製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。

この機器の取り付けには、電気工事士の資格が必要です。

ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。またお読みいただきました後も大切に保管してください。

ご質問・テクニカルサポートについては下記までお問い合わせください。

ホームページ <http://www.lutron.com/japan>

E-mail asuka@lutron.com

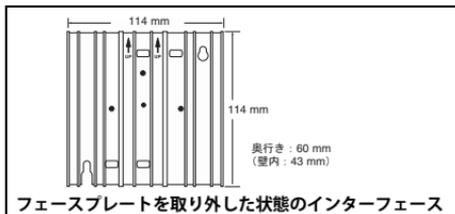
Tel: 03-5575-8411

フリーダイヤル 0120-08-3417



警告！

- 負荷または負荷配線は短絡させないでください。また、誤配線のないよう充分にご注意ください。
負荷の点灯確認はユニットを取り付ける前に行ってください。一瞬の短絡で内部回路が破損し、発火の危険があります。なお、絶縁抵抗テストは、関連するすべての電源を切断し、必ず 100V にて行ってください。
- 最大容量を超える負荷は接続しないでください。
故障・異常発熱・火災などの原因となります。
- 本器は一般屋内取り付け専用です。浴室や屋外など湿度の高い場所には設置しないでください。
故障・火災・感電などの原因となります。
- 本説明書に記載された電線を使用し、確実に結線してください。
指定外の電線の使用や不十分な結線は、異常発熱・火災の原因となります。
- 改造をしないでください。
故障・異常発熱・火災などの原因となります。
- 本器の出力側にコンセント等の受け口を接続しないでください。
照明器具以外の電気製品を接続すると、故障・異常発熱等の原因となります。
- ユニットに対応する負荷以外のものは接続しないでください。
故障・異常発熱・火災などの原因となります。



本器は、コントロールユニット*と照明負荷の間のゾーン配線上に設置します。

パワーブースター (PB) を使用すると、コントロールユニットのゾーン負荷容量を増加できます。白熱灯/ハロゲン (タングステン)、電磁トランス付ローボルト球、ネオン/冷陰極管に対応します。

電子トランスインターフェース (ELVI) を使用すると、コントロールユニットのゾーンは電子トランス付ローボルトの負荷を制御できます。(逆位相制御)

ルートロン蛍光灯インターフェース (FPB1V) を使用すると、コントロールユニットのゾーンは蛍光灯の負荷をルートロン Hi-lume 位相制御調光安定器を制御できます。

位相制御蛍光灯インターフェース (PBSH) を使用すると、位相制御方式の調光蛍光灯器具を制御できます。

各インターフェースの最大負荷容量は次のとおりです。

インターフェース	100V
パワーブースター (PB)	1600W/VA 16A
電子トランスインターフェース (ELVI)	830W/VA 8.3A
ルートロン蛍光灯インターフェース (FPB1V)	1600W/VA 16A
位相制御蛍光灯インターフェース (PBSH)	1600W/VA 16A

* PB/ELVI/FPB1V/PBSH を接続できるルートロン製品

- ・グラフィックアイ 3000 シリーズ
- ・ウォールボックス調光器の一部
- ・Homeworks 調光器の一部



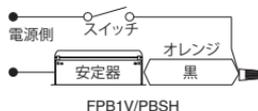
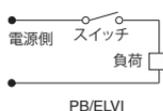
危険! すべての作業を行う前に必ずブレーカーがオフになっていることを確認してください。ブレーカーをオフにしない場合、感電することがあります。本システムは複数の分電盤から給電されていることがあります。

点検の際は関連するすべての電源を切断してから、行ってください。

1. 本器の取り付けは、適用される電気規制に従って、資格のある電気技術者が行うようにしてください。
2. 不適切な配線を行った場合、ケガをしたり、インターフェース他の機器が損傷することになります。
3. 各ゾーンごとに **PB/ELVI/FPB1V/PBSH** を最大 2 台まで設置できます。ただし、違うタイプのインターフェースは混在できません。
4. 本器は、十分な冷却効果が得られるように、上向き矢印に合わせて取り付けてください。
5. **PB:** ローボルト器具を使用する場合、電磁トランスのみ使用できます。
6. **ELVI:** 逆位相制御で調光を行い、電子トランス付ローボルト球のみ使用できます (ELVI と電子トランスのマッチングテスト必須)。なお、マッチングしないトランスを使用すると、不点、ちらつき、器具故障の原因になる場合があります。
7. **注意!** 調光型電磁トランス付ローボルト球: トランスが過熱したり、故障したりするのを防ぐため、次の点を遵守してください。
 - (a) ランプが切れたときは、すぐに交換してください。
 - (b) 熱保護回路、または保護フューズを内蔵しているトランスのみをご使用ください。
8. **ELVI/FPB1V:** これらのインターフェースは、過負荷状態のときに、インターフェースを遮断する熱保護回路を内蔵しています。温度が下がると、インターフェースの電源はオンになります。
9. **PBSH:** 位相制御で調光を行う蛍光灯器具のみ使用できます。(PBSH と器具のマッチングテスト必須) マッチングしない器具を使用すると、不点・ちらつき・器具故障の原因になる場合があります。

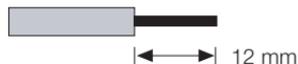
負荷の点灯確認

- ブレーカーをオフにします。
- **PB/ELVI**: 電源線と負荷線の間に標準スイッチを接続します。
- **FPB1V/PBSH**: 電源線と負荷線の間に標準スイッチを接続します。このとき、安定器の黒線とオレンジ線はまとめて接続してください。
- 電源を入れ、負荷の点灯を確認します。負荷が点灯しない場合、またはブレーカーがトリップした場合、配線に問題があります。配線を確認の上、再度テストしてください。
- 絶縁抵抗テストは、関連するすべての電源を切断し、必ず 100V にて行ってください。



配線手順

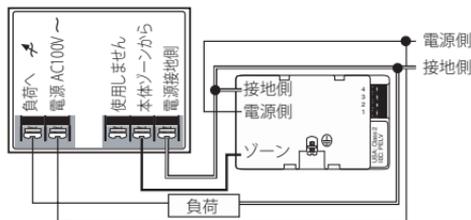
1. コントロールユニットへの電源供給および **PB**、**ELVI**、**FPB1V**、**PBSH** への給電をオフにします。
2. 2 口用深型スイッチボックスを取り付けます。適切な放熱を行うために、インターフェース上下に 110 mm 以上の空間を空けてください。
3. 電線の被覆を 12 mm 剥き、図のように配線します。接続端子には、WF 2.0 mm または CV 3.5 mm² 以下の電線を 2 本まで接続できます。接続端子ビスの規定トルクは 1.0 N・m です。



PB/ELVI 配線図

PB/ELVI 100V のシングル給電配線

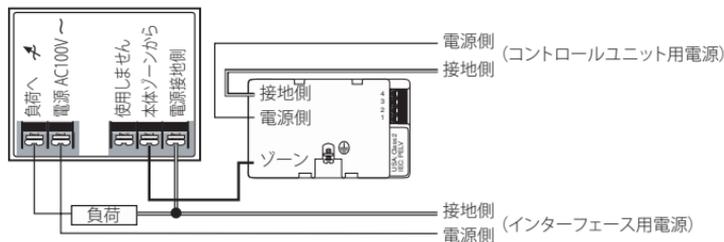
-  **PB/ELVI** は、負荷合計がブレーカーの定格を超えない場合のみ、コントロールユニットと同一回路上に配置できます。



PB/ELVI 100V のデュアル給電配線

インターフェイスとコントロールユニットのブレーカーを分け、複数のブレーカーから給電できます。

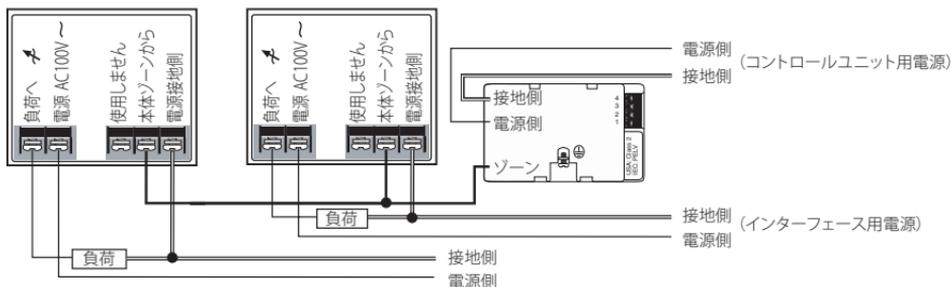
* この配線では分岐漏電ブレーカーの使用はできません。



1つのゾーンで2台のPB/ELVI インターフェイスを使用する場合のデュアル給電配線 - 100V

インターフェイスとコントロールユニットのブレーカーを分け、複数のブレーカーから給電できます。

* この配線では分岐漏電ブレーカーの使用はできません。

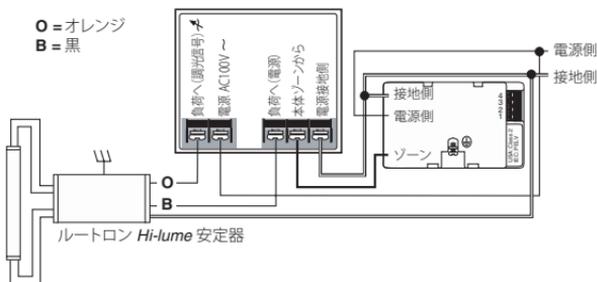


FPB1V 配線図

FPB1V 100V のシングル給電配線



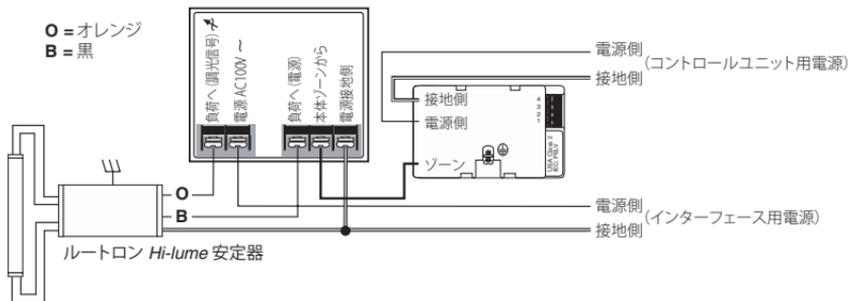
FPB1V は、負荷合計がブレーカーの定格を超えない場合にのみ、コントロールユニットと同一回路上に配置できます。「負荷へ (調光信号)」端子は、ルートロン Hi-lume 電子調光安定器のオレンジ線に接続します。



FPB1V 100V のデュアル給電配線

インターフェースとコントロールユニットのブレーカーを分け、複数のブレーカーから給電できます。「負荷へ (調光信号)」端子は、ルートロン Hi-lume 電子調光安定器のオレンジ線に接続します。

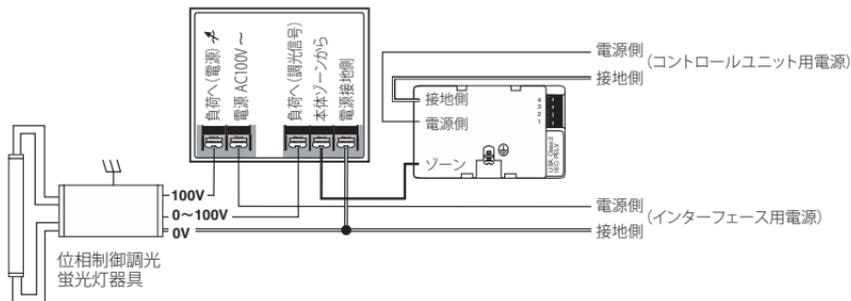
* この配線では分岐漏電ブレーカーの使用はできません。



PBSH 100V のデュアル給電配線

インターフェースとコントロールユニットのブレーカーを分け、複数のブレーカーから給電できます。

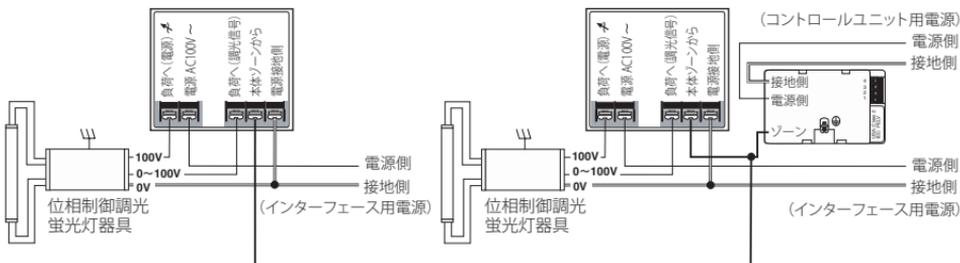
* この配線では分岐漏電ブレーカーの使用はできません。



1つのゾーンで2台のPBSHインターフェースを使用する場合のデュアル給電配線 - 100V

インターフェースとコントロールユニットのブレーカーを分け、複数のブレーカーから給電できます。

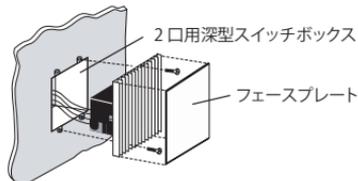
* この配線では分岐漏電ブレーカーの使用はできません。



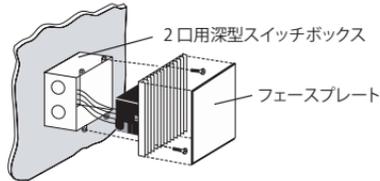
取付：インターフェースは垂直に取り付けてください！

- すべての接続を確認し、付属のネジを使用してインターフェースを取り付けます。周囲温度 0 ~ 40°C、相対湿度 90% 以下の場所に、垂直に取り付けてください。
- システムに電源を供給します。

壁面への埋め込み取付



壁面への露出取付

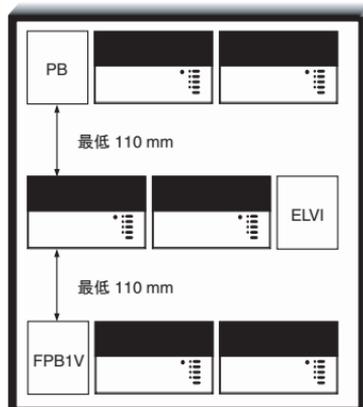


パネルに取り付ける場合

- 取り付けるパネルは、電気通信に関する日本の法律および各地方自治体の条例または規則に従って設置する必要があります。
- ルートロンでは、パネルを密閉する前面ドアの使用を推奨しません。これは、GRAFIK Eye コントロールユニットおよびインターフェースの放熱効果を制限してしまうためです。
- 複数のコントロールユニットやインターフェースを 1 つのパネルに取り付ける場合
 1. パネル内部の周囲温度は **0 ~ 40°C の範囲に保ってください。**
 2. 風通しの悪い場所に設置する場合、冷却ファンを取り付けるなどして空気を対流させてください。
 3. 右図を参考に、上下に 110 mm 以上の隙間をあけて設置してください。
- インターフェースの放熱効果をより高めるには、フェースプレートを取り外してください。



GRAFIK Eye コントロールユニットとインターフェースユニットは、動作時に熱を放出します。周囲温度が 0 ~ 40°C の範囲に保てない場合、コントロールユニットやインターフェースが誤動作・故障する原因となる場合があります。



トラブルシューティング

症状	原因	対処方法
照明が点灯しない	電源がオフになっている	PB/ELV/FPB1V/PBSH に電源を供給します。 コントロールユニットに電源を供給します。
	誤配線	配線図を参照し、配線を確認します。
	ランプが切れている	ランプを交換します。
	GRAFIK Eye 3000 コントロールユニット	『GRAFIK Eye コントロールユニット取付説明書』の「トラブルシューティング」セクションを参照します。
	インターフェースに過負荷がかかっている	定格以上の負荷がかかっていないか、取り付けが正しく行われているか、空気対流が適切か確認します。 ユニットを冷却する必要があります。
照明が突然点滅を繰り返す	負荷タイプ	グラフィックアイの当該ゾーンの負荷タイプが正しく設定されているかを確認します。
	GRAFIK Eye 3000 コントロールユニット	『GRAFIK Eye コントロールユニット取付説明書』の「トラブルシューティング」セクションを参照します。

限定保証

ルートロン アスカ株式会社は、その裁量により、ご購入より 1 年間を限度として、部品や製造上欠陥のあるユニットを修理または交換いたします。保証サービスの適用にあたっては、不具合のあるユニットをルートロン アスカ株式会社に返送していただく必要があります。詳細はルートロン アスカ株式会社までご連絡ください。

本保証書は単一の明文規定とし、商品化の黙示保証および日本の民法（瑕疵担保）のもとでの黙示保証の適用は購入から 1 年に限定されます。本保証には、取り付け、取り外し、再取り付け、および誤用や乱用、不十分・不適切は修理に直接起因する損傷、あるいは配線ミス、取り付けミスに関する費用は含まれません。また、本保証は、付随的、間接的に発生する損傷や特殊な損傷をカバーするものではありません。なお、ルートロン アスカ株式会社が、ユニットの製造、販売、取り付け、配送、使用に直接または間接的に起因する損傷に対して請け負う責任は、ユニット本体の購入価格を超えないものとします。本製品は、以下に示すひとつまたは複数の特許により保護されています。

4,797,599; 4,803,380;

Lutron, GRAFIK Eye, Hi-lume, Homeworks は米国 Lutron Electronics Co., Inc. の登録商標です。

© 2008 Lutron Electronics Co., Inc.

031270 Rev B



ルートロン アスカ株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-20

第16興和ビル南館4階

Tel: 03-5575-8411 (代表)

Fax: 03-5575-8420

☎ 0120-08-3417

E-mail : asuka@lutron.com

http://www.lutron.com/japan

販売店印